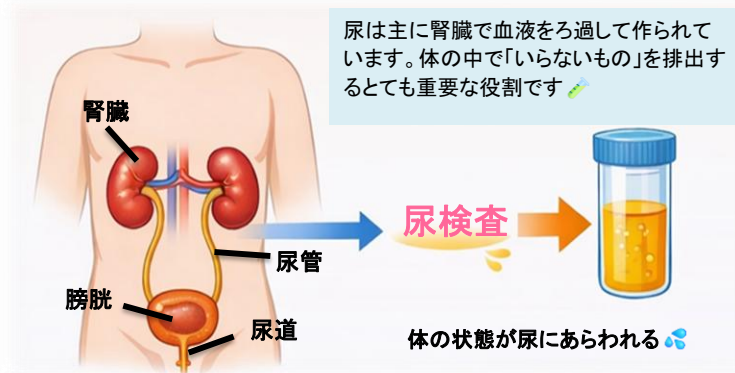


～知っておきたい尿検査の重要性～

日本においては、3歳児検診から社会人の検診まで生涯にわたり尿検査が広く実施されています。尿には、体の代謝によってさまざまな成分が含まれており、体の中で不要になり排出された物になります。尿を調べることで腎臓や糖尿病、尿路感染症などの病気を早期発見することを目的としています。特に子どもの腎臓の病気は初期にほとんど症状が出ないことが多い為、早期に見つけて治療することで進行を防ぐことができます。



尿の成分を調べて、体の健康状態をチェックしましょう。

尿検査は他の検査と比べ

- ・痛みが少ない
- ・短時間で終わる
- ・費用が比較的安い

という特徴があり、**学校での尿検査が重要な理由**は

- ・症状が出にくい腎臓病を見つけられる
- ・早期治療につながる
- ・成長期の健康管理ができる
- ・多くの児童を一度にチェックできる

という点があります。

<p>①尿蛋白</p> <p>腎臓の働きが正常か</p>	<p>②尿糖</p> <p>糖尿病のサイン</p>	<p>①尿蛋白: 腎臓のフィルター機能(ろ過機能)を調べます。「陽性」: 腎臓に異常があるか、ウイルスや細菌由来の炎症の可能性がります。</p>
<p>③尿潜血</p> <p>出血や炎症があるか</p>	<p>④白血球</p> <p>感染のサイン</p>	<p>②尿糖: 血糖値の異常(糖代謝)を調べます。「陽性」: 糖尿病の疑いがあります。(過食・ストレス・栄養ドリンクの影響の場合もあり)</p>
		<p>③尿潜血: 尿の通り道で出血していないかを調べます。「陽性」: 腎臓や尿の通り道、膀胱に炎症の可能性がります。</p>
		<p>④白血球: 体に侵入した細菌やウイルスと戦う免疫細胞です。「陽性」: 尿路に炎症や感染の可能性がります。</p>

尿を採取する上での注意点

- ①前日は過度の運動や過食、ビタミン剤や清涼飲料水等の内服・飲用は避けて下さい。
 - ②就寝前は排尿しておきましょう。
 - ③検査提出日、起床直後の尿で中間尿(*)を採取してください。
- (*)細菌や皮膚の汚れ等を防ぐために出始めの尿を避けて採取することで検査の正確性をあげることに繋がります。

検査時期について

春は、園児や学校の新学期開始後の健康診断の一環として4～6月ごろに多く利用いただいております。
秋は、年度途中(夏～秋)に入園や転入した場合を対象としておりますが、成人の方も“健康診断の1つ”としていかがでしょうか。これからの時期に重要な検査になります。検査内容や結果についてご不明な点等ございましたらお気軽にお問い合わせください。



KHL 株式会社 九州保健ラボラトリー
Kyushu Hoken Laboratory

<http://www.kyuhoko.co.jp>

鹿児島事業所

鹿児島県鹿児島市小野二丁目15番2号
TEL099(218)3636 FAX099(218)3553

福岡サテライト

福岡市博多区井相田3丁目5番10号
TEL092(404)5455 FAX092(404)7015

